

山笑う、目前



芽吹き始めた草木が山々を淡く彩る季節がもうすぐやってきます。その目前は、春植物(スプリング・エフェメラル)たちの出番です。落葉樹が葉を展開する前の林床には、太陽の光が届きます。この僅かな期間に花を咲かせ、他の植物が茂る前に地上から姿を消すので、春植物は「春のはかない命」や「春の妖精」とも呼ばれています。2月、太陽に向かって一斉にフクジュソウが咲いていました。旧暦の正月頃に咲くめでたい花なので「福寿草」。3月には、カタクリやアズマイチゲなどが花を咲かせてくれるでしょう。光を巡る競争を避けるためや花粉を運んでくれる虫たちを誘うために、様々な工夫をしている春植物との出会い。毎年、待ち望んでいた春の訪れを実感する出来事です!



フクジュソウ(キンポウゲ科)

山地のやや明るい林床などに生える多年草。花は日が当たっているときだけ咲く。まだ寒い早春、動き始めた昆虫が暖かさを求めて太陽光で暖まった花に寄ってくる。



アズマイチゲ(キンポウゲ科)
落葉樹林内や林縁、草地などに生える多年草。



ニリンソウ(キンポウゲ科)
山野の湿ったところに生える多年草。



カタクリ(ユリ科)

林内に群生する多年草。花が咲くまでに7~8年かかる。名の由来は、傾いた籠状の花なのでカタカゴ、その後ユリに似た花なのでカタコユリ。それが転じてカタクリになったなど諸説あり。

葉を展開する前に花を咲かせる落葉樹も始動しています。猫のしっぽ「ネコヤナギ」、清らかな香り「ウメ」、パチパチ花火「マンサク」、美しい紅色「ツノハシバミ」…山にサクラが咲き始めたら、いよいよ“山笑う”の到来です!



マンサク(マンサク科)

山地の尾根や斜面に生える低木。名の由来は、真っ先に咲くからとか、枝一杯に花を咲かせる様子を豊年満作に例えたなど諸説あり。



ツノハシバミ(カバノキ科)

丘陵から山地の明るい林内などに生える低木。角のような独特な実をつける。

植物は、その場から移動することができません。観察する際は、踏み荒らしたり、持ち帰ったりしないようにお願いします。

森林レンジャーツアー

「けもの探偵になろう！」報告



まだ寒い1月。けもの探偵になりたい参加者が集まりました！

出発してすぐ、前日に降った雪の上にけもの足跡を発見！期待がますます膨みました。森に入ると、6種のけものフンや食痕などの痕跡を観察することができました。

けもの探偵たちは、徐々に痕跡が見えてくるようになるだけではなく、痕跡からけもの正体などを推理するように！中には、野生動物に影響を与えてしまう自分たちの行動を考えてくれた探偵もいました。

けものに出会えなくても、その存在を知り、参加者によっては、自然と自分のつながりを感じる探偵活動となったのではないのでしょうか。

コレンジャー2月の活動報告



ジョウビタキ

2月の活動は、秋川で冬にみられる野鳥の観察でした！

約6.5km歩いて確認した野鳥は、年間を通して見られるカワセミやサギ類、冬にしか見られないジョウビタキやアオジ、ホシハジロなどのカモ類など…なんと44種！！

コレンジャーの鳥博士たちが、確認した鳥の記録を担当し、最後に仲間に発表してくれました。

これまでの活動では、山地や丘陵の自然を調べてきましたが、確認できた鳥の種数は今回最多だったことから、秋川は様々な野鳥にとって重要な環境だと学んだ活動となりました。

次回は今月。12期最後の活動「終了式」です。

4月1日より
募集開始！

第13期 森の子コレンジャー募集！



「本物の自然に出あう1年」

自然が好き、自然を調べたい、
自然を守りたい人、集まれ～！
活動は、季節の自然を調べる
ために山や河原を歩いたり、
自然のための整備を行います！

森林レンジャーのパプロと、
かせちゃんと、自然が好きな仲間
と。一緒に活動しませんか(^_^♪

対象：5時間程度の山登りができる市内在住の4、5年生（令和5年度）

募集人数：10名（1年間一緒に活動できる方）

活動：年9回

場所：市内各地の森など（現地集合・解散）

応募方法：応募用紙は学校を通じて配布します。

4月1号の広報か市のホームページで詳細をご確認の上、応募してください。